

2025年9月22日（月） 株式会社ホットリンク

ホットリンクグループの Nonagon Capital、

バリデーター運用を本格的に開始

～国内企業がバリデーター運用を開始するための伴走支援も提供開始～

株式会社ホットリンク（本社：東京都千代田区、証券コード：3680、代表取締役グループ CEO：檜野安弘、以下ホットリンク）は、当社グループの合同会社 Nonagon Capital（本拠地：米国サンフランシスコ・ベイエリア、代表職務執行者：岡本和士）が、自社でのブロックチェーン・バリデーター運用に加え、国内大手企業におけるバリデーター運用開始に向けた支援を本格的に開始したことをお知らせいたします。

1. 背景

Nonagon Capital はこれまで約 3 年間に渡り、米国シリコンバレーを拠点に投資活動を行ってきました。その中で、Nonagon Capital の投資事業とブロックチェーンのノード（サーバーなどの総称）運営にはシナジー効果が望めると認識するに至りました。とりわけ、L1（レイヤー1）と呼ばれるブロックチェーンの開発元へ投資すると、トークンが発行されると同時にバリデーター運用を開始でき、安定した報酬を中長期的に確保できるようになります。

暗号資産やブロックチェーンを活用した一般的な新規事業としては、ブロックチェーン上で稼働するサービスの開発や、ブロックチェーン自体の開発が考えられます。しかし、これらの実現には多くの高いハードルがあります。手軽に始められる施策として NFT の発行が選ばれることもありますが、事業の継続性に課題があります。そのため Nonagon Capital では、ハッカソンの開催や協賛、暗号資産の購入・運用（DAT 戦略）といった形での参入も可能であることを、国内企業に伝えてきました。

Nonagon Capital では 2024 年より、国内上場企業向けに提供しているコミュニティ事業「Nonagon Connect」を運営しています。本事業を通じ、暗号資産やブロックチェーンを利活用した事業を立ち上げたり、NFT 配布などを行ったりする企業と対話する機会があります。その中でよく耳にするのが「何をするのが最適解なのかわからなくなってきた」との悩みでした。

前述したイベントへの協賛や DAT 戦略も、ブロックチェーン領域への参入手法として一定の効果があります。しかし、これらの方法よりも限定的なリスクでよりメリットを享受することができるバリデーター運用に可能性を見出し、東大で博士号を取得したメンバーを中心にバリデーター運用を社内で完結できる体制を整え、バリデーター運用を開始しました。

加えて、ブロックチェーン領域に事業参入を検討する国内企業にとってもバリデーター運用を最適解であると結論づけ、国内大手企業のバリデーターの運用開始までを支援することとなりました。

2. バリデーター運用を通じて得られるメリット

当社が取り組むバリデーター運用は、ブロックチェーンの基盤を支える重要な役割を果たすと同時に、継続的なキャッシュフローを創出する新たな事業機会となります。ネットワークの維持に貢献しながら、幅広い事業展開の原資として活用できる点に大きな意義があります。

バリデーター運用の主なメリットは以下の通りです。

(1) ブロックチェーン開発元やコミュニティとの関係構築

バリデーターの分散化は健全なネットワーク維持に不可欠な存在であり、運用を通じて開発元やコミュニティと関係を築ける可能性があります。これにより、オンライン・ミーティングや開発元主催イベントへの参加、事業開発やコミュニティ運営に関する直接的な対話の機会が広がり、情報収集や事業展開の面でメリットが期待されます。

(2) 継続的なキャッシュフローの確保

ブロック生成や取引検証の対価としてネットワークから支払われる報酬により、継続的なキャッシュフローを得られる可能性があります。こうして得られるキャッシュフローは、投資収益を補完するだけでなく、当社の事業運営や新規事業の展開に活用することで、持続的な成長基盤の構築につながることが期待されます。

(3) リスクを抑えた運営の可能

通常のバリデーター運用では、ステーキング用のトークンを自社で購入する必要があるため、価格変動リスクに晒されます。一方、当社ではブロックチェーンの開発元と連携することで、リスクの影響を抑える工夫を取り入れた形でのバリデーター運営を検討できる体制を整えております。

さらに、新規事業立ち上げの観点でも、バリデーター運用は有効な選択肢となり得ます。ブロックチェーン開発元と密接に関わり、ネットワークを広める「パートナー」として活動することにより、新規事業に必要な関係性と知見を獲得できる可能性があります。これにより、立ち上げ初期から実践的なネットワークを築けるとともに、他のブロックチェーン関連事業と比べて短期間でビジネス化する可能性がある点も特徴です。

3. バリデーターの運用支援について

Nonagon Capital では、国内上場企業が国内外のブロックチェーンのバリデーター運用を開始するにあたって必要な支援を提供しております。バリデーター運用を開始するにあたり、次のような準備が必要です。国内の事業者にとって Nonagon Capital がこれらに対応し、バリデーター運用開始までを伴走支援いたします。

- ・バリデーター運用を軸とする戦略立案
- ・バリデーター運用するブロックチェーンの選定
- ・開発元との条件交渉
- ・法務や会計に関する業務フローの策定、および社内調整サポート
- ・バリデーター運用に必要な技術的支援

4. バリデーター運用に興味がある事業責任者の方へ

ブロックチェーンにとってバリデーターがなぜ必要なのか、バリデーター運用におけるメリットなどをまとめた資料を作成しております。事業としてのバリデーター運用に興味関心がある方は、下記 URL より必要事項をご入力ください。

<https://crd120azvc6.typeform.com/to/rlyYG1ar>

5. 合同会社 Nonagon Capital について



Nonagon Capital は、サンフランシスコ・バイエリアに主な拠点を置く、ブロックチェーンのプロジェクトに投資を行うベンチャーファンドです。世界中の最前線のプレイヤーとのネットワークを持っており、北米とアジア市場、特に日本市場を繋ぐブリッジの機能を付加価値として、世界中のインフラストラクチャー、DeFi、DAO、エンターテインメント関連のプロジェクトのシード・ステージを中心に投資を行っています。「世界的に Web3 を普及させるプロジェクトを生み出す」ことをミッションに、今後も投資活動と事業活動を行って参ります。

代表者：代表職務執行者 岡本和士

公式サイト：<https://www.nonagon.xyz/>

Nonagon Capital ご紹介資料：

https://drive.google.com/drive/folders/1bGibM0iJEoaMjeNLc_RwNWd9xSJgdjy_?usp=sharing

株式会社ホットリンクについて（証券コード：3680 東証グロース）

日米で事業を展開するホットリンクグループのコア企業。SNSへの投稿など、生活者の声の投影であるソーシャル・ビッグデータを分析し、企業のマーケティング活動や報道、災害対策などでの活用支援を行っています。Web3においても、データ分析・活用力を活かしてインフラを担い、世界中の人々が“HOTTO（ほっと）”できる世界の実現を目指しています。

設立日：2000年6月26日

代表者：代表取締役グループCEO 檜野 安弘

本社所在地：東京都千代田区富士見一丁目3番11号 富士見デュープレックスビズ5階

事業内容：SNSマーケティング支援

URL：<https://www.hottolink.co.jp/>

■お問い合わせ

株式会社ホットリンク 広報担当 倉内（くらうち）

東京都千代田区富士見一丁目3番11号 富士見デュープレックスビズ5階

TEL：03-6261-6932 MAIL: hotto@hottolink.co.jp